

露商の類別

り。若し天津商なかりせば、新疆の商權は、全部露商の專有に歸せん。

露商を類別すれば、歐露本國人は至つて少なく、全部露國の「ムスルマン」族、即ち纏頭回民と同一人種とし、北路には、カザン州の住人にして「ノカイ」と稱する一族、南路にはタシケンド、安集延地方の者多しとす。

新疆の天產物農產物は、人民生活上の必要品として、一も備はらざるは無し。故に他の供給を待たず、自由に自活し得べきも、工業の發達極めて幼稚なる爲め、日用品の大部分は、之を輸入に待ちつゝ在るなり。其の供給者は、露國大半を占め、其の小半は清國內地よりするものにして、印度よりの輸入は、僅に其の一部分に過ぎずとす。

五 貿易發展策

幾度か縷言せし如く、新疆は山間僻遠の土地なりと雖も、其の生産力豊富なれば一方に於て農工業の發達を圖ると同時に、大に通商貿易を擴張せざるべからず。物貨の生産額を多大にして輸出貿易を奨励發達せしめざるべからず。

新疆省の商業、今日に至るも微々として振はざる原因數條あり。其第一は從來

貿易不振
の原因、
第一輸入
超過